

2025 年 11 月 事業承継支援コンサルティング研究会 事例問題

【テーマ】後継者の決意と覚悟

事例問題

A 社（機械製造業、従業員数 20 人、売上高 10 億円、当期純利益 3 千万円、純資産 2 億円、借入金 1 億円）は、関東の地方都市にある創業 50 年の町工場です。大手自動車メーカーとの継続的な取引があり、業績は安定しています。

創業者である甲社長（代表取締役、75 歳）は、高い営業力を発揮して、A 社をここまで大きくしてきました。しかし、持病の進行と体力の衰えから、そろそろ引退したいと思っています。

甲社長の子どもは娘 2 人で、いずれも結婚して専業主婦をしています。親族は誰も A 社で働いていません。

そこで、甲社長は、中堅社員として頑張っている乙部長（50 歳、営業担当）を後継者にするのはいかがでしょうかと考えました。乙部長は新卒で A 社に入社し、工場の製造作業と総務経理の仕事を経験し、10 年前から営業部長として活躍しています。

甲社長は乙部長に会社を継いでくれないかと相談したところ、乙部長から「しばらく考えさせて欲しい。」と言われました。

【問1】乙部長が後継者となる場合、サラリーマンから「経営者」に轉身しなければいけません。乙部長個人の観点から、「経営者」になるメリットとデメリットは何でしょうか？

【問2】乙部長が後継者となろうとする場合、事業承継の 3 つ側面の沿って、乙部長個人が具体的に検討すべき事項を列挙してください。